

しなののうた

夜桜の造幣局の通り
抜け花に埋まり人に埋まるる



杉田小百合

しなののうた

八重桜枝先までも花ありて薄桃色に若き日はるか

杉田小百合



しなののうた

いかめしき造幣局と思えども花に遊べば穏やかなれる



杉田小百合

しなののうた

幾度の戦火を浴びる大阪城濠にゆるゆる屋形船浮かぶ

杉田小百合



しなののうた

贅きわむむ天下統一秀吉の金の茶釜がまが金色をなす



杉田小百合